

令和7年度

三次市下水道事業会計決算書

三次市

目次

決算報告書

1 令和7年度三次市下水道事業決算報告書..... 1

財務諸表

1 令和7年度三次市下水道事業損益計算書..... 6

2 令和7年度三次市下水道事業剰余金計算書..... 7

3 令和7年度三次市下水道事業剰余金処分計算書..... 7

4 令和7年度三次市下水道事業貸借対照表..... 9

5 令和7年度三次市下水道事業注記表..... 1 1

※ 消費税及び地方消費税の取り扱いについて

書類名	区 分	項 目	税込	税抜
決算書	決算報告書	決算報告書	○	
	財 務 諸 表	損益計算書		○
		剰余金計算書		○
		剰余金処分計算書		○
		貸借対照表		○

令和7年度三次市

(1) 収益的収入及び支出
収 入

区 分	予 算 額			
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額	合 計
第1款 下水道事業収益	2,174,534,000	9,187,000	0	2,183,721,000
第1項 営業収益	670,361,000	0	0	670,361,000
第2項 営業外収益	1,504,173,000	9,187,000	0	1,513,360,000
第3項 特別利益	0	0	0	0

下水道事業決算報告書

(単位:円)

決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 仮受消費税及び地方消費税
2,203,620,041	19,899,041	57,951,948
637,799,358	△ 32,561,642	57,951,948
1,534,103,111	20,743,111	
31,717,572	31,717,572	

支 出

区 分	予 算 額					
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流 用 増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小 計
第1款 下水道事業費用	2,174,534,000	9,187,000	0	0	0	2,183,721,000
第1項 営業費用	2,088,456,000	0	0	0	0	2,088,456,000
第2項 営業外費用	83,578,000	9,187,000	0	0	0	92,765,000
第3項 特別損失	500,000	0	0	0	0	500,000
第4項 予 備 費	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000

現金の支出を伴わない経費については、地方公営企業法施行令第18条第5項ただし書の規定により、支出

(単位:円)

地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合 計	決 算 額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不用額	備 考 仮払消費税及び地方消費税
0	2,183,721,000	2,260,132,500	0	△ 76,411,500	76,428,236
0	2,088,456,000	2,096,134,495	0	△ 7,678,495	76,398,524
0	92,765,000	93,009,361	0	△ 244,361	
0	500,000	70,988,644	0	△ 70,488,644	29,712
0	2,000,000	0	0	2,000,000	

の予算額を超えて又は支出の予算がなくても執行できることから、不用額欄がマイナスとなっている。

(2) 資本的収入及び支出

区 分	予 算 額			
	当初予算額	補正予算額	小 計	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 の 規 定 に よ る 繰 越 額 に 係 る 財 源 充 当 額
第1款 資本的収入	1,360,410,000	12,100,000	1,372,510,000	15,650,000
第1項 企 業 債	636,100,000	12,100,000	648,200,000	7,800,000
第2項 国庫補助金	479,800,000	0	479,800,000	7,850,000
第3項 県 補 助 金	4,215,000	0	4,215,000	0
第4項 他会計負担金	207,600,000	0	207,600,000	0
第5項 負 担 金 等	32,695,000	0	32,695,000	0

支 出

区 分	予 算 額				
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小 計	地 方 公 営 企 業 法 第 26 条 の 規 定 に よ る 繰 越 額
第1款 資本的支出	2,029,103,000	0	0	2,029,103,000	15,700,000
第1項 建設改良費	1,074,728,000	0	0	1,074,728,000	15,700,000
第2項 企業債償還金	953,774,000	0	0	953,774,000	0
第3項 過年度返還金	1,000	0	0	1,000	0
第4項 予 備 費	600,000	0	0	600,000	0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額635,973,729円は、過年度分消費税及び地方消費税
度分損益勘定留保資金114,973,782円及び当年度分損益勘定留保資金487,698,647円で補てんした。

(単位:円)

継続費通 次繰越額 に係る財 源充当額	合 計	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考 仮受消費税及び地方消費税
0	1,388,160,000	1,045,907,000	△ 342,253,000	
0	656,000,000	546,200,000	△ 109,800,000	
0	487,650,000	293,250,000	△ 194,400,000	
0	4,215,000	2,917,000	△ 1,298,000	
0	207,600,000	164,900,000	△ 42,700,000	
0	32,695,000	38,640,000	5,945,000	

(単位:円)

継 続 費 通 次 繰 越 額	合 計	決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考 仮払消費税及 び地方消費税
			地方公営企 業法第26条 の規定によ る繰越額	継 続 費 通 次 繰 越 額	合 計		
0	2,044,803,000	1,681,880,729	258,204,000	0	258,204,000	104,718,271	62,882,419
0	1,090,428,000	732,504,148	258,204,000	0	258,204,000	99,719,852	62,882,419
0	953,774,000	949,376,581	0	0	0	4,397,419	
0	1,000	0	0	0	0	1,000	
0	600,000	0	0	0	0	600,000	

資本的収支調整額31,971,506円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,329,794円、過年

令和7年度三次市下水道事業損益計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:円)

1	営業収益			
(1)	下水道使用料	579,522,490		
(2)	その他営業収益	<u>324,920</u>	579,847,410	
2	営業費用			
(1)	管渠費	137,561,917		
(2)	処理場費	564,295,192		
(3)	浄化槽費	23,482,830		
(4)	普及促進費	103,940		
(5)	総係費	110,481,817		
(6)	減価償却費	<u>1,183,810,275</u>	<u>2,019,735,971</u>	
	営業利益(△は営業損失)			△ 1,439,888,561
3	営業外収益			
(1)	他会計補助金	855,061,000		
(2)	県補助金	966,000		
(3)	長期前受金戻入	659,694,752		
(4)	雑収益	<u>255,574</u>	1,515,977,326	
4	営業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	91,444,668		
(2)	雑支出	<u>21,390,291</u>	<u>112,834,959</u>	<u>1,403,142,367</u>
	経常利益(△は経常損失)			△ 36,746,194
5	特別利益			
(1)	過年度損益修正益	8,246		
(2)	その他特別利益	<u>31,709,326</u>	31,717,572	
6	特別損失			
(1)	減損損失	70,386,680		
(2)	過年度損益修正損	<u>572,252</u>	<u>70,958,932</u>	<u>△ 39,241,360</u>
	当年度純利益(△は純損失)			△ 75,987,554
	前年度繰越利益剰余金			<u>124,724,519</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>48,736,965</u></u>

令和7年度三次市下

(令和7年4月1日から

	資本金	剰			
		資本剰余金			
		受贈財産 評価額	工負担金	補助金	資本剰余 金合計
前年度末残高	3,869,543,674	1,574,671,652	2,802,978	30,401,077	1,607,875,707
前年度処分額	0	0	0	0	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0
	減債積立金の積立	0	0	0	0
	利益積立金の積立	0	0	0	0
	建設改良積立金の積立	0	0	0	0
処分後残高	3,869,543,674	1,574,671,652	2,802,978	30,401,077	1,607,875,707
当年度変動額	0	0	0	0	0
一般会計等出資金の受入	0	0	0	0	0
	減債積立金からの組入	0	0	0	0
	建設改良積立金からの組入	0	0	0	0
	受贈財産の受入	0	0	0	0
	負担金の受入	0	0	0	0
	補助金の受入	0	0	0	0
	除却損への補てん	0	0	0	0
	当年度純利益(△純損失)	0	0	0	0
当年度末残高	3,869,543,674	1,574,671,652	2,802,978	30,401,077	1,607,875,707

水道事業剰余金計算書

令和8年3月31日まで)

(単位:円)

余金					資本合計
利益剰余金					
減債積立金	利益積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
0	0	0	124,724,519	124,724,519	5,602,143,900
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	(繰越利益剰余金) 124,724,519	124,724,519	5,602,143,900
0	0	0	△ 75,987,554	△ 75,987,554	△ 75,987,554
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	△ 75,987,554	△ 75,987,554	△ 75,987,554
0	0	0	(当年度未処分利益剰余金) 48,736,965	48,736,965	5,526,156,346

令和7年度三次市下水道事業剰余金処分計算書

(単位:円)

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	3,869,543,674	1,607,875,707	48,736,965
議会の議決による処分額	0	0	0
減債積立金の積立	0	0	0
利益積立金の積立	0	0	0
建設改良積立金の積立	0	0	0
処分後残高	3,869,543,674	1,607,875,707	(繰越利益剰余金) 48,736,965

令和7年度三次市下水道事業貸借対照表

(令和8年3月31日)

資 産 の 部

(単位：円)

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地 1,589,990,593

ロ 建 物 1,462,390,250

減価償却累計額 △ 273,938,035 1,188,452,215

ハ 構 築 物 36,128,388,158

減価償却累計額 △ 6,436,552,570 29,691,835,588

ニ 機 械 及 び 装 置 3,331,998,631

減価償却累計額 △ 1,817,027,807 1,514,970,824

ホ 有 形 リ ー ス 資 産 7,700,000

減価償却累計額 △ 1,386,000 6,314,000

ヘ 建 設 仮 勘 定 511,239,966

有形固定資産合計 34,502,803,186

(2) 投 資 そ の 他 の 資 産

イ 破 産 更 生 債 権 等 0

貸 倒 引 当 金 0

投資その他の資産合計 0

固 定 資 産 合 計 34,502,803,186

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金 142,810,285

(2) 未 収 金 167,587,169

貸 倒 引 当 金 △ 2,078,005 165,509,164

流 動 資 産 合 計 308,319,449

資 産 合 計 34,811,122,635

負 債 の 部

(単位：円)

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に 6,445,253,543
充てるための企業債

ロ その他の企業債 2,850,900,000

(2) リ ー ス 債 務 4,589,546

固 定 負 債 合 計 9,300,743,089

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に 929,998,000
充てるための企業債

(2) リ ー ス 債 務 2,273,332

(3) 未 払 金 260,209,314

(4) 引 当 金

イ 退職給付引当金 1,024,257

ロ 賞与引当金 9,279,465

(5) そ の 他 流 動 負 債 39,580

流 動 負 債 合 計 1,202,823,948

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金 23,637,132,785

(2) 長期前受金収益化累計額 △ 4,855,733,533

繰 延 収 益 合 計 18,781,399,252

負 債 合 計 29,284,966,289

資 本 の 部

(単位：円)

6 資 本 金

(1) 自 己 資 本 金

資 本 金 合 計 3,869,543,674

3,869,543,674

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

イ 受贈財産評価額 1,574,671,652

ロ 工 事 負 担 金 2,802,978

ハ 補 助 金 30,401,077

資 本 剰 余 金 合 計 1,607,875,707

(2) 利 益 剰 余 金

イ 当年度未処分利益剰余金 48,736,965

利 益 剰 余 金 合 計 48,736,965

剰 余 金 合 計 1,656,612,672

資 本 合 計 5,526,156,346

負 債 資 本 合 計 34,811,122,635

令和 7 年度三次市下水道事業注記表

1 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

建物 1 5 ～ 5 0 年

構築物 1 0 ～ 6 0 年

機械及び装置 8 ～ 2 0 年

車両及び運搬具 4 ～ 5 年

工具・器具及び備品 5 年

イ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

(2) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

会計年度職員に対する退職手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額を計上している。

イ 賞与引当金

職員の期末、勤勉手当の支給及びそれらに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 キャッシュ・フロー計算書に係る注記

該当なし。

3 貸借対照表等に関する事項

(1) 賞与引当金の目的使用による取り崩しについて

当年度において、期末手当、勤勉手当及びそれらに係る法定福利費を支給するため、賞与引当金 9,608,530 円を取り崩した。

(2) 貸倒引当金の目的使用による取り崩しについて

当年度において、不納欠損処分に係るものとして、貸倒引当金 500,858 円を取り崩した。

4 セグメント情報に関する注記

(1) 報告セグメントの概要

三次市下水道事業会計は、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び特定地域生活排水処理事業を運営している。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	公共下水道事業における処理区域で汚水を処理する業務
特定環境保全公共下水道事業	特定環境保全公共下水道事業における処理区域で汚水を処理する業務
農業集落排水事業	農業集落排水事業における処理区域で汚水を処理する業務
特定地域生活排水処理事業	特定地域生活排水処理事業（浄化槽事業）における処理区域で汚水を処理する業務

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで）

（単位：円）

	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	農業集落 排水事業	特定地域生活 排水処理事業	合計
営業収益	366,801,670	71,550,165	122,355,375	19,140,200	579,847,410
営業費用	1,035,766,379	360,390,555	568,648,975	54,930,062	2,019,735,971
営業損益	△668,964,709	△288,840,390	△446,293,600	△35,789,862	△1,439,888,561
経常損益	△23,154,887	△959,954	△12,912,731	281,378	△36,746,194
セグメント資産	20,797,467,062	5,287,886,183	8,475,591,324	250,178,066	34,811,122,635
セグメント負債	18,019,931,663	3,637,602,338	7,409,920,756	217,511,532	29,284,966,289

5 減損損失に関する注記

(1) グルーピングの方法について

下水道事業に使用している固定資産については、下水を排除又は処理する、す

すべての資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、事業全体を1つの資産グループとする。ただし、所定の役割を終え、使用を停止した資産については、個別にグルーピングを行っている。

(2) 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

用途：下水処理施設（灰塚水質管理センター）

場所：三次市三良坂町三良坂10037番地16

用途：使用停止資産

資産の種類：土地、建物、構築物

上記固定資産については、当年度に灰塚処理区と三良坂処理区を接続し、処理機能を三良坂処理区に集約したことにより、将来において活用の見込みがないため、減損の兆候を認識した。

(3) 減損損失の認識及び測定について

使用停止資産の回収可能価額が帳簿価額を下回るため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額70,386,680円を減損損失として計上した。

なお、回収可能価額について、土地は固定資産仮評価額を参考にしている。建物と構築物は、使用価値がないことから正味売却価額により測定することとなるが、本施設は売却見込みがないため、正味売却価額は0円としている。

また、当該減損損失の計上に伴い、当該施設の取得に充てた国庫補助金等に係る長期前受金戻入益31,709,326円を特別利益として計上した。